

【小学校・中学校・義務教育学校用】

令和8年度学校評価計画

達成度（評価）	
A	: 十分達成できている
B	: おおむね達成できている
C	: やや不十分である
D	: 不十分である

学校名	唐津市立打上小学校
1 前年度 評価結果の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・全国および県の学力調査の結果が市・県平均を上回るなど、日頃の学力向上に向けた全校的取組、児童の努力、家庭の協力が着実に成果として表れている。 ・特別な支援を必要とする児童の増加や、教職員の年休取得の難しさといった現状から、人的体制の充実と教職員の専門性向上は重要な課題である。 ・地域人材や関係団体とも連携し、地域のよさを生かした教育活動を一層推進することで、学校・家庭・地域が一体となった教育の充実が期待される。
2 学校教育目標	自ら考え行動し、地域や仲間を思い、夢に向かって輝く子どもの育成
3 本年度の重点目標	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもが主体的に活躍する授業を目指し、「なかよし学習」や段階的な学び（ともちタイム・みんなでタイム・ふり返り）を通して、活用力・表現力の向上と学習内容の定着を図る。 ・地域人材や関係団体と連携し、地域の特色を生かした教育活動を推進するとともに、「チーム学校」による協働体制で教育の充実を図る。

4 重点取組内容・成果指標	中間評価	5 最終評価
---------------	------	--------

(1)共通評価項目				中間評価		最終評価		学校関係者評価	
評価項目	重点取組	成果指標 (数値目標)	具体的取組	進捗度 (評価)	進捗状況と見通し	達成度 (評価)	実施結果	評価	意見や提言
●学力の向上	○なかよし学習を軸とし、自分の考えを表現する場を設定した授業の実践	○授業で「自分の考えをもち、友達に伝えることができた」と肯定的な回答した児童80%以上	・「唐津の学びスタイル」に合わせた「なかよし学習」で段階的（ともちタイム・みんなでタイム・ふり返り）な学びを実践する。 ・聞き合い話し合う活動では、比較・関連付けを意識させる。 ・振り返りを通して思考の深まりを自覚させる。						
	●児童生徒が、自他の生命を尊重する心、他者への思いやりや社会性、倫理観や正義感、感動する心など、豊かな心を身に付ける教育活動	○人権意識や自己肯定感・規範意識を育むことができた」と回答した児童が85%以上	・人権集会の開催や道徳の授業、人権教材、人権・同和教育に関する教材等を活用した授業等を通して、人権教育の推進を行う。						
	●いじめの早期発見、早期対応に向けた取組の充実	○いじめ防止等（いじめの定義、いじめの防止等のための取組、事案対応等）について、組織的対応ができていると回答した教職員90%以上	・なかよしアンケートを毎月実施し、いじめの早期発見・早期対応に努める。児童からの訴えを教職員で共通理解する。						
●心の教育	●児童生徒が夢や目標を持ち、その実現に向けて意欲的に取り組もうとするための教育活動	●「先生はあなたのよいところを認めていると思う」と回答した児童生徒80%以上 ●「将来の夢や目標を持っている」と回答した児童生徒80%以上	・児童同士のよさ見つけを行うとともに、職員が具体的な行動や努力を価値づけ、授業や帰りの会で計画的に賞賛する場を設定する。 ・各学年で年1回、全校集会で発表の機会を設け、学習や生活の成果を共有し、互いのよさを認め合う雰囲気醸成する。 ・外部講師による講話の実施に努めるとともに、キャリアパスポートを学期に1回以上活用し、振り返りや目標設定を行うことで、夢や目標を主体的にもたせる。						
	○他者とのかわりの中で「仲間を思う」を実感できる教育活動	○児童会やブロック活動、体験活動で仲良く助け合いながら取り組むことができた」と回答した児童85%以上	・児童会、ブロック活動を充実させる。 ・体験活動での振り返りの中で、「仲間を思うこと」について触れさせる。						
	●「運動習慣の改善や定着化」	●アンケートで、「晴れの日は、外で遊ぶことができた」と答えた児童の割合70%以上	・晴れた日は、外遊びの奨励として、健康委員会や教員が呼びかけを行うとともに、教員も外へ出る。						
●健康・体づくり	●「健康的な食習慣と食の自己管理能力の育成」	●「健康に良い食事をしている」児童80%以上	・各教科の授業の中で、健康に良い食事について指導し、生活に生かすことができるようにする。また、健康委員会の活動で、「より良い食事」についての呼びかけを行う。						
	○体力向上を意識した取り組み	○スポーツチャレンジで各学年3種目参加	・スポーツチャレンジ月間を設定し、その間に1種目を選択して各学年参加する。						
●業務改善・教職員の働き方改革の推進	●業務効率化の推進と時間外在校等時間の削減	●教育委員会規則に掲げる時間外在校等時間の上限を遵守する。 ●年間20日の年次休暇のうち、職員1人当たりの年次休暇の取得日数14日以上	・研修による意識改革とOJTの推進を図り、全員45時間以下を目指す。 ・長期休業中の研修を精選し、年休を取得しやすくする。						
	○行事、業務の見直し・削減	○行事や校務分掌の精選・スリム化に取組む。各部および各個人で1つ以上取組む。	・「やめる行事・業務」および「簡略化する行事・業務」について話し合い、明確化する。						
●特別支援教育の充実	○特別支援教育に関する教員の専門性と意識の向上	○専門性が向上したと回答した職員が90%以上	・児童理解研による児童についての共通理解を図る。 ・特別支援教育の研修を充実させる。						

(2)本年度重点的に取り組む独自評価項目									
評価項目	重点取組内容	成果指標 (数値目標)	具体的取組	中間評価		最終評価		学校関係者評価	
				進捗度 (評価)	進捗状況と見通し	達成度 (評価)	実施結果	評価	意見や提言
◎地域や外部と連携した教育活動の推進	◎学校内外での体験活動の充実と外部講師の活用	◎ふるさと佐賀、唐津への誇りや愛着をもったと回答した児童85%以上	教頭、教務主任、担任が連携し、外部機関や人材を活用して、各学年で2つ以上の体験活動を実施する。						

●…県共通 ○…学校独自 ◎…志と誇りを高める教育

5 総合評価・次年度への展望	<ul style="list-style-type: none"> ・ ・
----------------	--